

次期3年計画素案をまとめる

5つの柱と12の施策に

城見まちづくり協議会は、アンケートの集約・分析をもとに、向こう3年間にどのように取り組んでいくか、役員会で論議を進め、このほど素案がまとまりました。

より多くの地域の方々の意見が反映された素案になるよう、婦人会、子ども会、老人会、消防団、自主防災・婦人防災クラブ、各種団体と意見交換を行いました。

アンケートの回答率の高かった項目をもとに素案をつくり、各種団体との意見交換の場にし、協議を進めた結果、大きくは次の5つの柱にまとめられました。

「まち協」5つの柱

- ① まちづくり協議会への住民参加の増加
- ② 高齢者や一人暮らしの方々への取組み
- ③ 子育てしやすい環境づくり
- ④ 交通安全・道路などの整備
- ⑤ 駐車場の確保

この5つの柱を前進させるための対応策を12に整理し、次頁の表にまとめています。このかわら版をぜひ活用していただき、議論を深め、27年度以降の「まち協」の取組みに活かしていただければ幸いです。



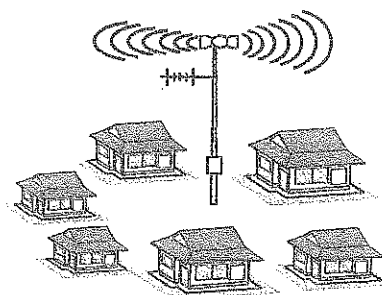
三島市長に防災無線の設置を要望

城見台・大宜地区の住民署名を添えて

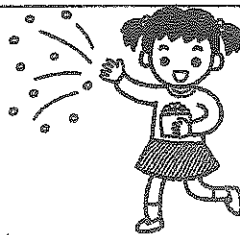
まちづくり協議会は昨年から笠岡市に対し「防災無線設備」を4地区全てに設置するよう求めていました。笠岡市は島しょ部を先行し徐々にという計画です。最近の災害発生の状況では「適確で迅速な情報の伝達」が不可欠です。増水・津波対策として茂平と用之江に設置することが広報かさおかに掲載されました。

城見台・大宜の住民から「地震が、今一番怖いのに!」と一日も早い設置を求める声が

当然あがりました。そこで、安全・安心部会を中心に署名運動を行い、12月4日、市に城見まちづくり協議会として要望書を提出しました。市は「分かりました。重く受け止めます。」と署名を受け取られました。



回答率の高い項目	対応策	3年計画		
		1年目	2年目	3年目
I まち協への住民参加を増やす ① 4地区のそれぞれの結束 ② 4地区の活動が第一	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の土台整備をもう一度 定期的(月一回)な活動団体の会合 自治会等 軸になる組織を作り上げる 	○ ムード作り	○ 形作り	○ 実行
II 高齢者に対する取り組み ③ 集会所(会館)の多目的活用 ④ 既存の活動や機能の支援 いきいきサロン・子育てサロン・城見っ子広場 ⑤ 近所の絆づくり ⑥ 病院の送迎通院手段の周知	<ul style="list-style-type: none"> 機能の整備と使い易いように工夫 遊び・料理・お茶軽食・集まってワイワイ 訪問活動に取り組む(高齢者、ひとり暮らし対策) 広報・自治会報・かわら版・公民館だよりの手渡し 耕作放棄地の活用(異世代のふれあい) 芋、野菜の栽培・収穫祭 資源回収やまちの清掃 かわら版の活用 	○ 骨格	○ 実行	○ 定着
III 子育てがしやすい環境づくり ⑦ 小学生の放課後対応 ⑧ 大見山の活用 ⑨ 挨拶の奨励	<ul style="list-style-type: none"> 各地区に適当な広場を整備する(既存の公園、広場の活用) 大勢が参加できる行事をつくる 登山クラブ的なものを作る(年齢は混合) あいさつ運動 	骨格	実行	実行
IV 交通安全・防災 ⑩ 学校、買い物に安全な道の確保 (生活道路の安全確保) 狭い道路、暗い路地の対策 ⑪ 適当なパトロール・避難、防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 要望・要請活動を「まち協」が軸で行なう 城見隧道に歩道がある 用之江踏切～小学校間の安全対策 吉浜～大冨(郵便局前)の安全対策 安心部会の計画を確実に地区ごとで実行 	○	○	○
V 駐車場 ⑫ 駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> 要望・要請活動を「まち協」軸で行なう 小学校、公民館等の行事で使える駐車場の確保 	○	○	○

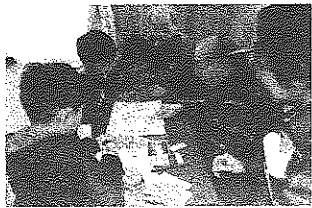


各地区で防災への取り組み

大宜 小学生が地域の安全・安心を学習

(2014年11月11日)

「君ならできる地域の安全・安心」の呼びかけに大宜地区の小学生15名が参加。大宜集会所で「安全・安心」の図上訓練を行ないました。防災マップに、崖、ため池、通学路などを色鉛筆で塗って、自分たちの地域の状況を知り、対応を学びました。また、消防ホースのつなぎ方や延ばし方などゲーム形式で楽しく取り組める工夫もありました。消防団のみなさん大変ありがとうございました。



城見台 避難訓練・消火訓練

(2014年10月26日 約190名参加)

訓練マニュアルによる避難行動

- ①家庭内避難行動
(転倒物、落下物から身を守る)
- ②電気ブレーカーを切り、1次避難場所へ避難、安否確認
- ③2次避難場所(城見台グラウンド)へ移動
- ④各班ごとに反省会

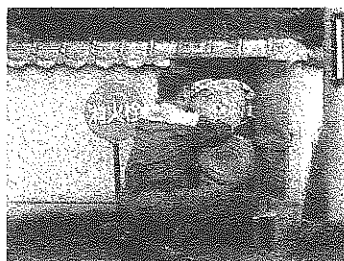
消防団のご支援による消火訓練



- ①消火栓の使い方、接続体験、消火用ホースの取扱いと放水体験
- ②消火器の使い方と消火器使用体験

茂平 茂平球技場にて防災訓練

(2014年11月2日)



消火栓ボックス収納品の説明



茂平の語り 婦人消防隊



訓練用消火器による消火訓練



参加者による放水消火訓練

大見山の新年祭に100人が参加

今年の新年祭は、昨年より参加者が増え大変盛り上がりました。ふれあい部会のみなさんの取り組みが功を奏したかたちです。

昨年、大見山ルートは3コースは2回の整備で登りやすくなっています。そして10月には展望台に双眼鏡が設置され、遠景が楽しめます。

双眼鏡は茂平の高田工業さんのご好意で取り付けられました。また、城見台の有志の方々が神島方向の立木を切り、素晴らしい景色が開けています。

次は3月15日(日)城見地区子ども会が大見山に登ります。その日、西洋シャクナゲの植樹が予定されています。各地区のみなさんも展望を楽しみに登ってください。





城見郷土史編集会の活動は27年度3月末に「城見郷土史」の発刊を目標に取り組み、26年度はその準備期間と位置づけ活動していることはお知らせの通りです。下記の通り活動してきました。編集委員会の発足が8月下旬にずれ込んだため、28年3月の発刊を考えています。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1. 編集会議の開催

平成26年8月22日 各地区より14名の編集委員を選任し第一回編集委員会を開催
編集委員長1名、副編集委員長2名、事務局1名、会計1名の役員を互選
第2～第5回編集会議開催：9月～12月、毎月1回開催。編集委員参加のべ人数60名（5回）

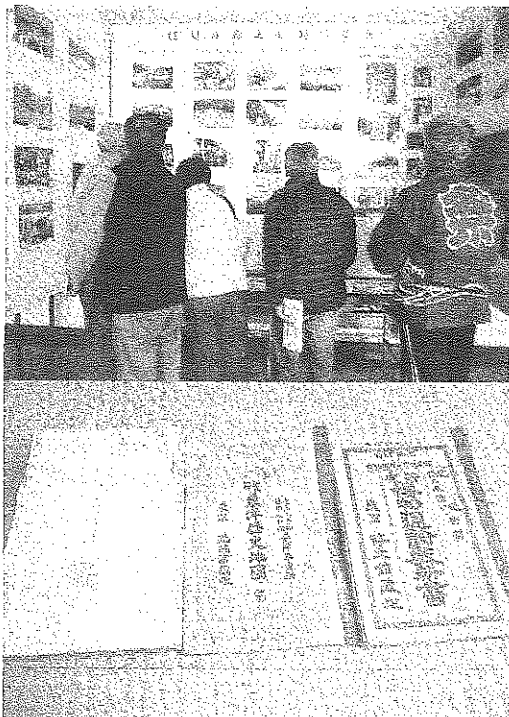
2. 取材、見学等戸外活動（12回のべ94名の参加）

- ・笠岡市教育委員会所蔵資料群の閲覧 …… 計5回の訪問（10/14、11/7、14、21、28）
- ・岡山県立古代吉備文化財センターを見学 …… 茂平国繁弥生時代出土品の説明を聞く（11/19）
- ・岡山県立歴史資料館の所蔵文書の閲覧 …… 茂平村、大宜村関係宗門送り手形等（11/16）
- ・用之江地区内四ツ堂&常夜燈の時代検証 …… 山陽新聞・夢ネットの取材もあり（10/12、10/17）
- ・茂平地区八幡神社他、歴史的遺構、海岸線等のフィールドワーク …… 神社総代の案内で見学
- ・大宜地区良神社、荒神社、羽方神社、太歳神社訪問フィールドワーク …… 同上
- ・用之江地区菅原神社、龍王神社、稻荷神社、荒神社等フィールドワーク …… 同上

3. 今後の活動計画

1月28日 城見三城の縄張り図作成要領講座

2月～3月 三城の野外測量の実施 まち協から各城に5～10名の調査協力者を要請します。
日程が決まり次第連絡



文化祭にて戦前の写真や古文書の展示の様子

～これからの行事予定～

- 2月15日（日）用之江地区の防災訓練
- 2月～3月 郷土史編集委員会 三城調査
- 2月24日（火）役員会
- 3月15日（日）子ども会大見山登山と植樹
- 3月24日（火）事務局会議
- 4月5日（日）臨時役員会
- 4月12日（日）総会

城見地区まちづくり協議会

笠岡市用之江334番地 TEL0865-66-5133

毎週火曜日の午前9時から12時まで在室しております。
お急ぎのご用件等は、事務所の郵便受けをご利用下さい。

今回の「城見のあれこれ」はお休みします。